

レース報告

- [1] 大会名 第 33 回赤穂トライアスロン大会
- [2] 開催日 2022 年 8 月 28 日(日)
スタート 9:00
- [3] 開催地 兵庫県赤穂市
- [4] 競技情報 スイム1km (池 1 周回)、バイク30km (5 km×6 周)、ラン5km (1.7km×3)

スプリントディスタンス
- [5] 大会結果 男子総合 5 位 年代別 1 位 (参加約 300人)

【感想と想い】

今回の目的は来週の今治伯方島トライアスロンシリーズレースの調整として選んだレース。加えて、今期再挑戦の仲間や初出場を考えていた仲間と同行遠征で臨みました。

自身は 25 年ぶりぐらいの開催地に来たわけですが、わずかな記憶があるくらい。コースは全く忘れていたか様変わりしていたと感じます。

今回はスイムでアクシデント発生。池の中(海水の池)にある周回する中島のコースロープ際を泳いでいたにもかかわらず浅瀬があり、ストロークする腕(手)を牡蠣殻でスッパリ！手の平や指を切ったのです。

電気が走ったような感覚！これはやられたなと…泳ぎ自体は悪くはなかったのですが。ただ陸に上がりトランジットで次への流れの中で流血がひどくびっくりと、その処理にとまどってバイクに乗っていました。次から次へと流血する血がバイクや足、またシューズへ飛び散るのが気になるのでした。

なめたりしながら風で乾かしレースは続行している感じです。バイクに関しては半分集中して走行の形で追い込めていない分、ランでしっかり走りたかったが、これまた痛めていた足底筋膜炎は悪くならない硬さで落ち着きだし良好になった一方で、反対側のふくらはぎ(腓腹筋)に痛みを発生させてしまいランはこれ以上は上げられない(蹴れない)スピードで抑え気味の走法。最後に若い子に交わされ少し悔しさが出てしまうといった感じです。

表彰では 8 位までが登壇。私は 5 位でその両側端までみんな 10 台~20 代前半と息子と一緒にの若者の中に突っ立っている状態。目立つというのか、「何だこのおじさんは！」といった感じでしょう。この子たちは私が全盛の頃なんて知る由もないのですから(笑)ただ、このようなのんびりとした大会も何かを伝える、感じ取らせることはできたのではないかと思っている。



